



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月5日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL https://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 辻 鶴男 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	31,953	△9.8	576	△3.4	537	9.4	289	△62.7
2019年3月期第1四半期	35,429	△0.2	596	△52.5	490	△59.8	776	△8.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 664百万円 (ー%) 2019年3月期第1四半期 △360百万円 (ー%)

(参考) EBITDA 2020年3月期第1四半期 4,202百万円 (△4.2%) 2019年3月期第1四半期 4,386百万円 (△11.5%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.19	11.06
2019年3月期第1四半期	30.00	29.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	127,146	61,579	48.3
2019年3月期	128,222	61,293	47.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 61,391百万円 2019年3月期 61,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	10.00	ー	12.00	22.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期 (予想)	ー	10.00	ー	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	65,800	△8.9	700	59.6	600	74.6	400	10.2	15.44
通期	134,000	△7.9	2,700	△16.4	2,500	△13.9	1,700	303.7	65.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	26,076,717株	2019年3月期	26,076,717株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	289,568株	2019年3月期	162,347株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	25,887,633株	2019年3月期1Q	25,867,356株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 会計方針の変更	8
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや設備投資の増加の動きの中で雇用情勢も高水準を維持するなど緩やかな回復が続いておりますが、足元では輸出鈍化の影響を受け企業の景況感はやや弱含みとなっております。また海外においては、米国の景気は堅調を維持しておりますが、アジア地域においては中国の景気は減速の中さらに一歩後退する形となり、インドの景気も鈍化傾向にあります。一方で、景気の先行きについては、米中の通商問題等による世界経済への影響、中国やインド経済の先行き懸念などもあり、依然不透明な状況が続いております。

当社グループでは2019年度から1921中期経営計画をスタートしており、計画に基づく施策展開を着実に進めるとともに、生産性や収益性の改善に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高31,953百万円（前年同四半期比9.8%減）、営業利益576百万円（前年同四半期比3.4%減）、経常利益537百万円（前年同四半期比9.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益289百万円（前年同四半期比62.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、国内販売、輸出向け生産共に前年同四半期比で概ね横ばいでの推移となっております。当社受注量は、昨年度から続く一部取引先の生産調整の影響を受け、前年同四半期比では減少となりました。売上高はアルミ地金市況が下落に転じたこともあり、15,142百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント損失29百万円（前年同四半期はセグメント損失64百万円）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、車両生産、販売共に概ね横ばいでの推移となっており、乗用車がシェアを縮小する一方で、小型トラックやSUVのシェア拡大は続いております。当社米国工場においても、小型トラック等に搭載される部品の受注が引き続き好調であり、概ね前年同四半期と同等の受注量となりました。一方のメキシコ工場では、新規部品の量産本格化による受注拡大があったものの、主要顧客である自動車メーカーの北米市場での販売低迷影響を受け、受注が大きく減少しました。その結果、北米セグメントでの売上高は9,029百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。収益面においては、米国工場での減価償却費の負担軽減等によりセグメント利益462百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、自動車販売が昨年下半年より減少に転じている中で、特に中国ローカルメーカーの販売減少が、当社の受注量に大きく影響を及ぼしております。一方インドでは、自動車保有や購入における各種制度の変更や、環境規制導入前の買い控え等により、好調であった自動車販売が前年割れの状況が続いており、これらの影響により当社の受注量も減少しました。こうした中国、インドでの自動車販売の減少の影響を受け、アジアでの売上高は5,810百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。収益面においては、売上高減少の影響等により、セグメント損失63百万円（前年同四半期はセグメント利益322百万円）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、前年同四半期に比べ販売量が減少したこと、販売単価が低い水準であったこと等により、売上高は1,025百万円（前年同四半期比13.6%減）となりました。収益面においては、アルミ相場下落で原材料価格が下がったこと等により、セグメント利益は67百万円（前年同四半期比163.0%増）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し、売上高は945百万円（前年同四半期比226.1%増）となりました。収益面においては、主に受注増による影響等により、セグメント利益は48百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、127,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,075百万円の減少となりました。流動資産は40,224百万円で、前連結会計年度末に比べ2,043百万円減少となり、その主な要因は、売上債権が2,726百万円減少したことによるものです。固定資産は86,921百万円で、前連結会計年度末に比べ967百万円増加となり、その主な要因は、有形固定資産が734百万円、繰延税金資産が86百万円、投資有価証券が120百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、65,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,362百万円の減少となりました。流動負債は46,576百万円で、前連結会計年度末に比べ86百万円増加となり、その主な要因は、仕入債務が1,560百万円、1年内返済予定の長期借入金が682百万円減少した一方、短期借入金が2,245百万円増加したことによるものです。固定負債は18,990百万円で、前連結会計年度末に比べ1,448百万円の減少となり、その主な要因は、長期借入金が1,542百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、61,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円の増加となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が79百万円、為替換算調整勘定が281百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末47.7%から48.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、2019年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,028	4,270
受取手形及び売掛金	22,382	19,937
電子記録債権	3,249	2,968
商品及び製品	3,463	3,087
仕掛品	4,760	5,222
原材料及び貯蔵品	3,070	2,896
その他	1,363	1,892
貸倒引当金	△50	△51
流動資産合計	42,267	40,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,816	14,733
機械装置及び運搬具(純額)	39,430	40,154
土地	5,461	5,455
建設仮勘定	8,982	8,893
その他(純額)	8,709	8,897
有形固定資産合計	77,399	78,134
無形固定資産	2,067	2,096
投資その他の資産		
投資有価証券	4,232	4,353
その他	2,278	2,361
貸倒引当金	△24	△23
投資その他の資産合計	6,486	6,690
固定資産合計	85,954	86,921
資産合計	128,222	127,146
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,162	10,374
電子記録債務	7,522	6,749
短期借入金	5,740	7,986
1年内返済予定の長期借入金	10,199	9,516
未払法人税等	872	308
賞与引当金	2,143	2,662
製品保証引当金	70	65
その他	8,779	8,913
流動負債合計	46,490	46,576
固定負債		
長期借入金	14,798	13,255
長期未払金	154	143
退職給付に係る負債	2,949	2,972
その他	2,535	2,618
固定負債合計	20,438	18,990
負債合計	66,928	65,566

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,206
利益剰余金	40,071	40,050
自己株式	△239	△306
株主資本合計	57,002	56,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,015	2,095
為替換算調整勘定	2,484	2,766
退職給付に係る調整累計額	△397	△384
その他の包括利益累計額合計	4,102	4,477
新株予約権	187	187
純資産合計	61,293	61,579
負債純資産合計	128,222	127,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	35,429	31,953
売上原価	31,978	28,521
売上総利益	3,451	3,431
販売費及び一般管理費	2,854	2,855
営業利益	596	576
営業外収益		
受取利息	21	28
受取配当金	72	49
スクラップ売却益	32	30
その他	28	16
営業外収益合計	154	125
営業外費用		
支払利息	160	113
為替差損	87	37
その他	12	13
営業外費用合計	260	164
経常利益	490	537
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	301	—
補助金収入	10	42
特別利益合計	318	42
特別損失		
固定資産除売却損	33	58
借入金繰上返済費用	152	—
特別損失合計	186	58
税金等調整前四半期純利益	623	521
法人税、住民税及び事業税	637	426
法人税等調整額	△790	△194
法人税等合計	△152	232
四半期純利益	776	289
親会社株主に帰属する四半期純利益	776	289

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	776	289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△223	79
為替換算調整勘定	△925	281
退職給付に係る調整額	11	13
その他の包括利益合計	△1,136	374
四半期包括利益	△360	664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360	664
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 会計方針の変更

(米国会計基準ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首より、米国基準を適用する米国子会社は、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しています。

なお、本基準の適用による当社グループの財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首より、当社グループは、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

なお、本基準の適用による当社グループの財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	16,242	10,489	7,220	1,186	289	35,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	968	1	535	1,327	1	2,834
計	17,211	10,490	7,756	2,513	291	38,263
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△64	390	322	25	△15	659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	659
セグメント間取引消去	△62
四半期連結損益計算書の営業利益	596

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	15,142	9,029	5,810	1,025	945	31,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	809	2	295	944	0	2,051
計	15,951	9,031	6,105	1,970	945	34,005
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△29	462	△63	67	48	485

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	485
セグメント間取引消去	90
四半期連結損益計算書の営業利益	576

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。